

再生ポリエステル100%素材の生地でオリジナルエコバックを製作 ――素材から考えるサステイナブルを推進



株式会社南日本放送(鹿児島県鹿児島市、社長:中野寿康 略称:MBC)は、SDGsの推進を行うためのツールとしてオリジナルのエコバックを製作しました。このエコバックは、岡本株式会社(鹿児島県始良市、社長:岡本和也)と共同で企画し、衣類等繊維製品を回収し再生ポリエステル原料を生産する技術を持つ株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパンと協業し、不要になった繊維製品からマテリアルリサイクルされた繊維を使用した再生ポリエステル100%のエコバックです。今回、これを従業員へ配布し利用促進を図るほか、自社イベント等で活用をしていきます。

MBCは、2020年10月に鹿児島県の放送局としてSDGsの推進に取り組むことを表明しました。これまで、従来より取り組んでいる『海と日本プロジェクトin鹿児島』の取り組みでもテーマとなっている海洋プラスチックごみ問題や、2020年7月にスタートした小売店のプラスチック製レジ袋の有料化など、注目が高まる脱プラスチックや気候変動問題に対する取り組みを検討していました。その一つとして環境問題について考えるきっかけとして素材そのものに着目したオリジナルエコバックを企画し、循環型社会を意識することにつながるような製品を作りました。

また、従業員への配布を想定し、コンビニエンスストアや少量の日常的な買い物での利用に最適なサイズで製作しました。

オリジナルエコバック概要:

名称	MBCオリジナルエコバック
素材	再生ポリエステル100%
サイズ	W260mm × H400mm (持ち手を含む)
カラー	3色: Black, Brown, Burgundy



特長:

●再生ポリエステル100%使用

エコログ製再生繊維14%+PET再生繊維86%
レスエナジー生地を使用
また、不要となった場合でも、エコログ・リサイク
リング・ネットワークの回収システムで廃棄され
ることなく循環させることが可能。



●気軽に使ってほしいサイズ

ペットボトル2本がちょうど入るコンパクト
サイズ。ちょっとした買い物やコンビニエ
ンスストアなどで利用しやすいサイズです。
折り畳めば持ち運びしやすいサイズに。



●3色展開とシンプルな鹿児島オリジナルデザイン

鹿児島のシンボル桜島を中心に自然
と生き物、そしてヒトが相互に関係
しあう循環型社会をイメージした
デザインです。使いやすい3色展開。

イラスト：ヨシサコツバサ※

※1992年生まれ鹿児島在住のイラストレーター。日
常の風景や街並みを切り取った哀愁漂うタッチや、
ポップで緻密なイラストを描く

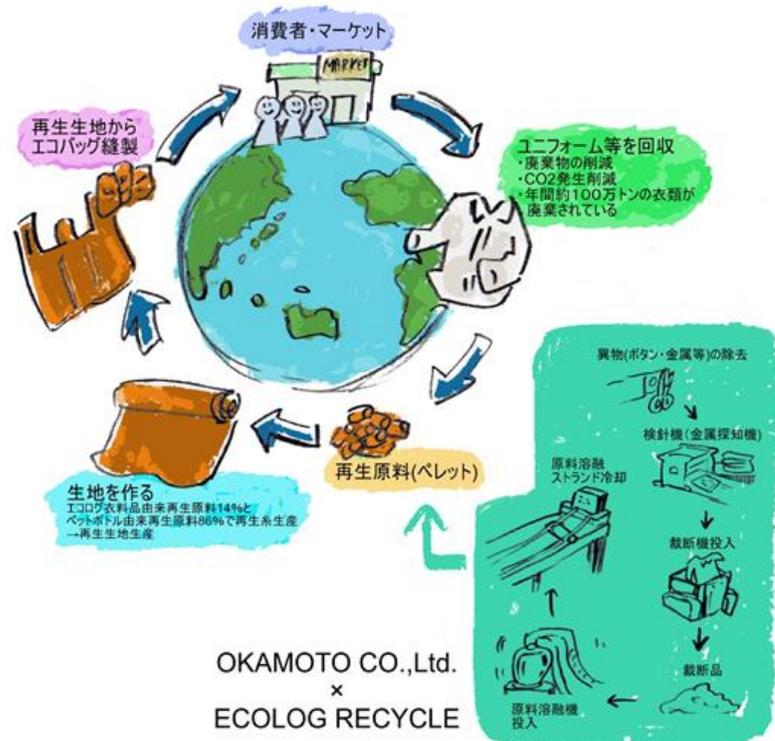
オリジナルエコバック素材について:

製作したエコバックは、「不要になった衣料品を回収し、繊維から繊維をリサイクルする手法(回収循環型マテリアルリサイクル)」で再生された原料由来生地を使用しました。

MBCオリジナルエコバックの活用について:

●製作したエコバックはMBCの従業員全員に配布しました。従業員ひとりひとりが利用促進を図るとともに、自社のSDGsの取り組みや、脱プラスチック、気候変動問題について意識し考えるきっかけとなることを想定しました。

●今後のMBCのSDGs推進に関する取り組みや企画で活用します。



エコバックの製作から見た衣料品リサイクルの現状について:

- 衣料品リサイクルには方法が大きく3種類あります。
- ・マテリアルリサイクル(繊維から中間素材へ戻し、繊維やプラ製品へ再商品化)
- ・ケミカルリサイクル(繊維を化学的に分解し、化学素材から繊維やプラ製品へ再商品化)
- ・サーマルリサイクル(繊維を焼却し、熱エネルギーとして再利用)

日本ではリサイクルされている衣料品の内およそ80%がサーマルリサイクルで処理されているのが現状です。再製品化にあたりマテリアルリサイクルの手法が最もCO2排出量が少なく、サーマルリサイクルする場合の約16%、焼却処分する場合の約10%の排出量です。

※出典: 環境省/経済産業省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.1.1(平成18年11月)より



ポリエステルから生成したペレット (中間素材)

●衣料品のリサイクルのためには、回収システムの構築が必要であることに加え、回収された衣料品はリサイクル目的であっても廃棄物処理法により「廃棄物」として扱われるため原則として県外への運搬ができません。また鹿児島県内に繊維のマテリアルリサイクルができる工場はありません。そこで今回は鹿児島県の岡本(株)と共同で企画し、回収された衣料品を県外へ運べる広域認定のリサイクル事業者である(株)エコログ・リサイクリング・ジャパンの工場(「びんごエコタウン(広島県)」)における中核施設である全国初の繊維リサイクル施設で再生した原料由来生地を使用しました。

●エコログ・リサイクリング・システム紹介動画

<https://youtu.be/HnAZEiYDz5M>

●エコログ・リサイクリング・ジャパン

<http://www.ecolog.co.jp/about/>



該当するSDGsの目標:



<会社概要>

●株式会社南日本放送

- ・所在地 鹿児島県鹿児島市高麗町5-25
- ・設立 1953年5月
- ・Web <https://www.mbc.co.jp/>
- ・事業内容 放送(テレビ・ラジオ)、企画、映像制作

●岡本株式会社

- ・所在地 鹿児島県始良市平松3744-8
- ・設立 2001年12月
- ・Web <https://www.okamoto-kk.biz/>
- ・事業内容 繊維製品の企画・製造・販売

●株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン

- ・所在地 広島県福山市草戸町3丁目11番8号
- ・設立 1994年3月
- ・Web <http://www.ecolog.co.jp/>
- ・事業内容 エコログ・リサイクリング・ネットワークの企画・運営
ポリエステルマテリアルリサイクル技術関連事業



(ウェブサイト) MBC南日本放送のSDGs <https://www.mbc.co.jp/sdgs/>

<本件に関するお問合せ>

株式会社南日本放送ネットワーク局地域プロジェクト部
担当/藤村 TEL/099-254-7165

みんなで
かごしま
SDGs

